



文化祭に代わる発表の場「きゅんぎょ」

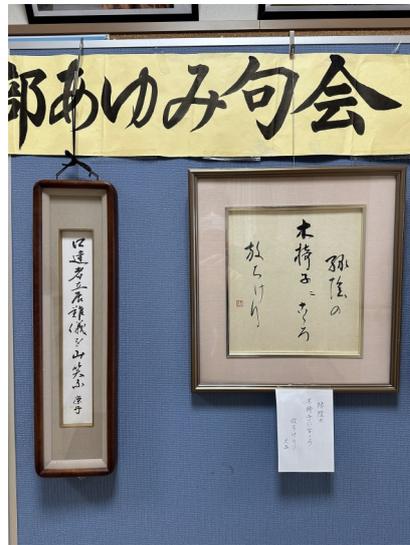
サークルはつらつ

コロナ禍のため中止になった出部地区文化祭に代わる発表の場として、カルチャー月間「きさらぎ」が2月、出部公民館で開かれた。
(2・3面に写真特集)

2月19日の芸能発表には公民館サークルなど7組が出演。地区内外の延べ300人が見守る中、ギター、ピアノ弾き語り、詩吟、ミュージックベル、レクダンス、太極拳などの熱いパフォーマンスを多目的ホールで繰り広げた。

「久しぶりの舞台で緊張しました」と出演者。訪れた人たちは「にぎやかな踊りや音楽を楽しみました」と大きな拍手を送っていた。

作品展示には、俳句サークル「あゆみ句会」、絵手紙教室、出部福寿サロンの力作、出部つなぐ会から活動成果の写真などが寄せられ、1カ月間、館内を彩った。



メニュー

願い届け とんど点火	4面
出会い膨らむパン作り	5面
おいしいを伝える味わいクラブ	6面
非常時に備え男性料理教室	14面
フォトコンテスト入賞作品	18・19面

出部地区人口	2023年	2月28日現在	7,375(185)人	男3,590(67)人	女3,785(118)人	世帯数3,158(159)戸	
	2022年	10月末比	-1(10)人	-22(-13)人	21(23)人	8(11)戸	※カッコ内は外国人

ギター講座



カルチャー月間「きさらぎ」

レクダンス
さわやか



郷音・舞
華やか



吟道哲尊流若葉支部出部教室

太極拳
出部教室



ベルフレンド





ピアノ弾き語り
はしもとなおこさん



いばら長寿の里
ギタークラブ

カルチャー月間「きさらぎ」

力作 出部つむぎ台 集う



黄色いハンカチ訓練再び

中部自治連合会は1月8日、とんど祭りに合わせて、「我が家は大丈夫」を知らせる安心の黄色いハンカチ掲示と、避難場所への移動経路で危険個所を再確認する防災避難訓練を実施した。

避難訓練には91%に当たる43地区が参加した。地区の代表者たちが避難場所に指定した出部小学校運動場までの経路を確認。ブロック塀や道

路などで危険個所を入念にチェックした。

黄色いハンカチは72%の世帯が掲示した。門柱や玄関に結んだり、レターボックスに広げて揚げたりして、「生存」を知らせた。安心の黄色いハンカチは各家庭の安否確認をスムーズに行う道具としていずえ地区まちおこし協議会が全戸に配布した。

中部
掲
示
率
72
%

とんど点火 願い届け



中部（1月8日、出部小学校運動場）

七日市（1月9日、七日市公園）

防災テント2張を購入

発電機・ワークライトも

下出部自治連合会は、地震など災害時の初期活動に対応するため、ワンタッチ式テント（3 畝 × 6 畝）2 張、発電機（900ワット）、ワークライト（LED30ワット 2 防雨型スタンド式）2 台を購入した。

発電機はインバータ式なので、一度に多数の携帯電話の充電ができ通信手段の確保

下
出
部



を行える。また、冷蔵庫など消費電力により制限があるものの小型電気製品にも使用できる。

テントは、下出部公民館の各種イベントにも使用し、幅広く活用する。



Team♥キューピット



出会い膨らむパン作り

いずえ地区まちおこし協議会の team♥キューピットは2月12日、独身の人たちのオシャレな交流と出会いの場として、パン作りのワークショップを出部公民館で開いた。

交流ワークショップ

独身男女の参加者とスタッフ、ボランティア総勢20人がパン作りに取り組んだ。パン愛好家岡本明美さんが発酵した生地を準備した。参加者は生地を分け、こねて成形。中にウインナーなどを入れて、オーブンで焼き上げた。

パンが焼きあがるまで、岡本さんが作ったハンバーガーやチーズケーキなどで昼食。交流の輪を広げた。

頂めざす

戸木荒神山城跡・岩屋観音

ふるさと出部発見フォトコンテスト連携イベントとして出部公民館といずえ地区まちおこし協議会は11月27日、第2回「出部を写そう ふるさとウォーク」を開いた。

下出部町の井原リフレッシュ公園を発着点に岩屋十一面観音、戸木荒神山城跡など史跡を巡った。出部地区歴史研究会メンバーの案内で約20人が険しい山道を汗だくで登った。岩屋観音や山城のいわれや説明を熱心に聞いていた。

参加者は「けもの道のような、傾斜が急で狭い道があり、しんどかった」。山頂に着くと「出部ばかりでなく、市内も見晴らせ、気分は最高だった」と、山登りの疲れを忘れていたようだった。フォトコンテストに応募するためシャッターを盛んに切る人もいた。

ふるさとウォーク 20人汗だく





愛を一つまみ
味わいクラブ



出部のおいしいを作ろう、食べよう、伝えよう—と出部公民館といずえ地区まちおこし協議会の伝統食文化研究会は11月から、いずえ味わいクラブを始めた。

地域には生活と密接なかかわりを持ち、受け継がれてきた行事食、郷土食がある。素朴なふるさとの味は心の豊かさと温もりを感じさせてくれる。

地域の人たちがもっと地域の料理に親しみ、日々の食生活に関心をもつことで、安全安心の健康的な食習慣が定着するよとの願いを込めた「味わいクラブ」。毎月1回、出部公民館調理室で開いている。会費500円。

伝統食文化研究会代表の安井佐代子さんたちと一緒に調理。メニューは第

出部の美味しいを作る、食べる、伝える



1 回豆ごはん・からうま・白和え、第2 回おせち料理（ヤズの照焼・煮しめ）、第3 回節分へ向けた恵方巻・イワシのつみれ汁、第4 回岡山県の郷土料理フナ飯だった。

参加者は「魚の裁き方や味付けのコツなど詳しく教わり、目からうろこが落ちるようだった」と喜んでた。





出部コーラス
癒しのハーモニー

熱い アフタヌーン ライブ

ウクレレ教室 Xmasコンサート

出部公民館サークルのウクレレ教室「井原咲くらんぼ」などによるアフタヌーンライブ「クリスマスコンサート」が12月9日、出部公民館の多目的ホールで開かれた。

講師の井上智雄さん率いるバンド「USBスィングス」も出演しハワイアンソングなどを奏でた。ハワイアンフラ「ファイ・フラ・オ・アロアロ」が加わり、華やかなステージを繰り広げた。会場はトロピカルムードに包まれ、訪れた人は優しいウクレレの音色と笑顔のフラに酔いしれていた。



いずえカフェ連携アフタヌーンライブ「出部コーラス 癒しのハーモニー」が11月25日、出部公民館で開かれた。

公民館サークル出部コーラスの18人が出演。しゃぼん玉、赤いくつなど懐かしい童謡や唱歌などを歌い上げた。ライブには30人が訪れ、なじみのある曲をくちずさみ楽しんでいた。

つなげよう未来、親子の笑顔



こいの川学級

こいの川学級では親同士の交流を通して、子育てについての情報交換や親睦を深めることを目標としています。

本年度も新型コロナウイルスの影響で思うように活動できませんでした。主に週末を中心に親子で活動しました。通常であれば年に1回バス旅行、公民館を借りての調理実習、親子で体を動かす活動などを行っています。

本年度は5月「春の寄せ植え教室」、1月「プリザーブドフラワーのリース作り」、2月「親子で楽しめるイチゴ狩り」と3回活動することができました。12月に予定されていた「プリザーブドフラワーでつくるしめ縄」が残念ながら延期となり、1月にリース作りという形で実施させていただくことになりました。2月の閉講式にはたくさんの参加があり、楽しい時間を過ごしました。

本年度は5月28日に開講しました。出会いとふれあいの場に出部小学校児童と保護者が集い、開講式のあと、親子で寄せ植えに取り組みました。

来年度も4月に募集の案内を出部小学校を通して配布いたします。講座への参加は、都合の良いときだけでも大丈夫ですので、気軽に参加していただけます。一緒に活動できるのを楽しみにしています。



春の寄せ植え



リース作り



イチゴ狩り

令和4年度
年間スケジュール

- 5月 閉講式
マスクケース作り
- 6月 親子でリトミック
- 7月 なつまつり
- 10月 ハロウィンパーティー
- 12月 ナチュラルリース作り
- 2月 閉講式
- 3月 いちごがり

おひさまクラブ



遊びふれあい

子育ての輪

出部地区では公民館活動の一環として、出部幼稚園保護者と園児を対象とした幼児教育学級「おひさまクラブ」という活動をしています。

活動は主に出部公民館を会場として、園児が幼稚園に登園している平日の午前中に保護者を対象として講師の先生をお迎えし楽しいワークショップやイベントを年数回程度企画しています。



親子でリトミック



なつまつり

ハロウィンパーティー



ナチュラルリース作り



本年度は親子参加のイベントを多く実施し、6月には親子リトミックで梅雨の運動不足を解消。7月には夏休み企画として「なつまつり」をし、景品をもらうためにさまざまなアトラクションに一生懸命チャレンジしている姿が見られました。また10月にはハロウィンパーティーと題し、簡単な工作とお菓子のつかみ取りをしました。仮装してきてくれた子らもおり、とても盛り上がりました。そして閉講式後の目玉企画、いちご狩りへは家族全員での参加も見られ、口の周りを真っ赤にして楽しみました。

室内イベントでは生涯学習課からの託児ボランティアの方々に来て頂き、未就園児もおもちゃで遊んで楽しく過ごすことができました。

新年度も出部公民館の素敵な施設を最大限に活用して、子どもや大人が楽しく面白く過ごせる時間を、みなさんと共に作っていかれたらと思っています。来年度もたくさんのご参加を楽しみにしております。

地域とともに出部つなぐ会

2022年度の活動

反省会 3月

「さあ、1年のスタート」

4月
出部つなぐ会総会

交通安全見守り活動

栄養教室

井原市が実施する栄養教室の伝達講習を行いました。

8月 開講式 災害時の備え



10月 旨味と野菜たっぷりメニューと「日常に取り入れやすい運動を続けよう」



美容と健康に
いいですよ

2月 閉講式 (ひまわり学級と共催)



10月 赤い羽根共同募金の取りまとめ

体育祭 今年度は中止

ひまわり学級

6月 開講式・健康講座「お口の健康」



8月 笑いヨガ講座



10月 調理講座①体育実技②講話③調理 (栄養教室と共催)



研修旅行 中止

12月 園芸講座中止

1月 シャドウボックス講座



2月 閉講式 (栄養教室と共催)

愛育委員会

赤ちゃん訪問

4か月検診に来られた赤ちゃんに保健センターでプレゼントを渡します。



学童・園児支援
本年度はコロナ禍のため中止

9月 健康講座

細谷武史氏が「新型コロナウイルスとともに歩む」と題して講演。



給食サービス

心を込めて、手作りカードを製作しました。



8月

日本赤十字社活動資金募集

日赤の活動を支える大切な資金となります。災害が多発する今こそ大切な活動です。

9月

交通安全見守り活動



9月

高齢者の皆様、今日に至るまで地域のためにご活躍下さり、ありがとうございました。

敬老会記念品配布

今年度もお祝いの品を贈りました。



出部公民館2階廊下につなぐ会の活動を写真で紹介しました。

2月

出部地区文化祭

給食サービス

今年度は中止

12月

給食サービス



今年度もお寿司・手作りカードなどを入れて、配りました。

児童発達支援 & 放課後等デイサービス こども発達支援 すてっぴ



運動

運動遊びや自然体験を通して健康的な体・意欲的な心の育成を支援します。



学び

一人ひとりに合った課題にチャレンジ! 「できた」の体験を積んでいくことで学ぶ意欲を高めます。



社会性

遊びや集団活動を通して、他者との関わり方や、コミュニケーション能力を高めていきます。



生きる力

誰もが「ただいま」「おかえり」の言える憩いの場

すてっぴでは、児童発達支援（未就学の支援を必要とする障害のあるお子様への発達支援やご家族への相談支援・地域支援）をおこなっております。さらに、放課後等デイサービス（6歳から18歳までの支援を必要とする障害のある就学児を対象に放課後や夏休み等の長期休業日を利用して、個別の発達支援や集団生活の居場所づくり）をおこなっております。

私たちは、ご家族への相談支援や学校等の関係機関との連携を図りながら、すべての子どもが最も身近な地域の一員として、笑顔が絶えない社会の実現を目指しています。そのために、一人ひとりの発達に合わせた支援内容で、楽しく安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

和源株式会社
こども発達支援 すてっぴ

所在地：井原市七日市町122-1
電話：0866-84-1775
E-mail：wagen-k.k@outlook.jp
HP：<https://www.wagenwagen.jp>



出部福寿会 秋の親睦旅行

紅葉や招き猫像楽しむ



出部福寿会は11月10日、秋の親睦旅行で招き猫美術館（岡山市）や、おかやまフォレストパーク ドイツの森（赤磐市）などを訪れました。32人が参加。車窓から木々の紅葉、目的地では表情豊かな招き猫像を楽しみました。

「家後屋さくらんぼの会」11月16日



リンゴ狩り… 広島県北



秋の散策 芳井天神峡周辺



「大橋三世代交流サロン」11月17日

おはよう、おかえり

県民運動に協力参加

民児協・更生保護女性会



出部地区の民生・児童委員は11月1日、犯罪のない安全・安心岡山県づくりのひとつとして推進する「おはよう、おかえり」県民運動に協力参加した。

更生保護女性会のメンバーたちも加わり11人が小雨の中、出部小学校・幼稚園の校門付近に立ち、登校の児童・園児たちの見守りに取り組んだ。子どもたちに「おはよう」とあいさつ。児童たちも元気な声で「おはようございます」とこたえていた。



男性料理教室

非常時に備える

パッククッキング



出部地区社会福祉協議会の生きがい健康部は12月21日、3年ぶりに男性料理教室を出部公民館調理室で開催しました。

井原市健康医療課の五弓紀子栄養士を講師に、16人が非常時に役立つパッククッキングの料理をつくりました。

メニューは①ご飯②焼き鶏缶の親子煮③ポトフ④キャベツと春雨の中華和え⑤ココアケーキ。料理はすべて耐熱用ポリ袋に下準備をして、沸騰したお湯に30分間加熱して完了です。非常に簡単で男性にも楽に作る事ができました。

煮込みの時間内に紙食器の作り方、非常時の備え、高齢者の健康管理について講義を受け、大変有意義な時間を持つことができました。

新民生・児童委員に4人就任 3人が退任

任期満了に伴い出部地区の民生・児童委員は、木山敏治さん、佐藤純土さん、森恒清美さんの3人が退任した。

新たに齋藤かおるさん、細羽真知子さん、北村宗則さん、石丸知美さんの4人が就任した。



きたむら むねのり
北村 宗則さん

明るく暮らしやすい地域になるよう微力ながら頑張ります。お気軽にお声掛けください。



さいとう
齋藤 かおるさん

皆様が日々気持ちよく過ごすことができるよう、お手伝いが出来たらと思っています。



ほそば まちこ
細羽 真知子さん

地域に根ざした、出会いを大切に歩んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



いしまる ともみ
石丸 知美さん

保護者、地域の皆様とともに、子どもたちの健康で幸せな暮らしづくりを支えてまいります。

民生委員の担当地区 (敬称略)

亀山 良子	七日市 (6番1~4、7番1~3、南町4、南町5一西、南町5一東)
山内 眞智子	七日市 (1~2番)
齋藤 かおる	七日市 (3番1~2、4番西・東、5の東、5の西、南町1~3)
石井 由子	上出部 (前的場、杉ノ木西・東・北・南・中、セルジュ出原・運動公園上)
三宅 秀美	上出部 (神戸坂、中国保全社宅、尾挾、松の木、積坂、市末、旭町、四季が丘)
塩出 禎郎	上出部 (原、原西、下町、中町、漆田、上町、シャーマンズいずえ、ファミリーいずえ、鯉の川)
井上 恭子	上出部 (的場グリーン)、笹賀 (後的場、片山アパート、薬師、共栄、メゾン旭、大橋ハイツ、福原、金嶋、共栄コーポ)
増成 保枝	下出部 (6~8組、10~13組)
原田 安敏	下出部 (1~5組、市営住宅、井原印刷社宅)
細羽 眞知子	下出部 (家後屋)、笹賀 (家後屋、大橋、鯨、銅)
北村 宗則	笹賀 (花木、西の谷、野崎、川附)
主任児童委員 (石丸知美、三村紀子、竹内美彩子) は出部全域を担当	

社協だより



高齢者給食サービス 本年度は2回実施

出部地区社会福祉協議会は2022年度、77歳以上の高齢者を対象の給食サービスを2回実施した。

第1回は12月11日。愛育委員が手作りのクリスマスカードを添えて、152食のお寿司を届けた。第2回は1月8日。民生委員が151食のお寿司と出部小学校児童が作った版画カレンダーを配った。

倉敷市社協と意見交換

かよいの場事業に注目

役員研修15人参加

出部地区社会福祉協議会は11月18日、3年ぶりに役員研修旅行を行いました。参加者15人が倉敷市笹沖にある倉敷市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター松岡さんより「かよいの場事業」について説明を聴き、出部社協のサロンの活動状況等についても意見交換しました。

倉敷市の「かよいの場」は約700カ所あるにもかかわらず、スタッフ5人で調査、企画運営されていることに感心しました。「かよいの場」のポイントは、「気軽に」「無理なく」「楽しく」集うです。その場所であれば既にそこが「かよいの場」であるということが印象に残りました。

消防団だより



非常呼集訓練 (11月13日、出雲池)



出部分団の役員 (敬称略)

分団長	原田 聡	専任本部長	土井 敦史	第一部部長	小川 貴史
副分団長	田口 和敬	本部長	久安 将平	第二部部長	安井 清人
副分団長	佐藤 善	本部長	井上 拓哉	第三部部長	田中 秀和



無火災の決意

出初式、3年ぶりに開催

井原市消防団出部分団の出初式が1月15日、出部小学校体育館で開かれた。

コロナ禍のため中止していた出初式は3年ぶりの開催。来賓が見守る中、団員55人が整列。原田聡分団長が「出部分団一丸となって、無火災達成を目指し尽力する」と

あいさつし、無火災への決意を新たにしました。

出部分団出初式の後、団員たちは井原町の市民会館で開かれた井原市消防団の出初式に出席。式典後には七日市町の日芳橋河原で恒例の無火災祈念放水訓練をした。

防火標語看板を更新

10年ぶり 国道313号沿い



笹賀町の国道313号沿いに設置している防火標語看板を10年ぶりに更新した。

防火標語は出部小学校の児童から募集。看板には優秀賞の2点を掲載した。出部分団は11月13日、優秀賞の児童たちを招き除幕・表彰式を開いた。

看板は高さ3尺、幅1尺の3面式。標語2点と消防団員募集のキャッチコピーが記されている。

募集標語入賞者は次の通り。

(敬称略)

優秀賞：山崎 菜生、有岡 多笑

佳作：関戸 みあ、小田原 未宙、
久安 由菜、石原 夢菜、
三宅 愛來、谷本 倫理

ふるさと出部発見フォトコンテスト2022



わっしょい (中部少年団)

優秀賞



一般部門
最優秀賞

家の窓より
(小川 姫穂さん)

春の兆し (山足 朱実さん)



審査員特別賞



ジャンプ
(石井 理恵子さん)



甘い一服 (佐藤 充さん)

一気に
まき割り
(七日市少年団)



入選



もっこっちょ
(藤井 秀典さん)



秋の収穫
(角本 直人さん)

一歩一歩着実に (谷中 亮太さん)



秋うらら
(四季が丘児童クラブ)

ふるさと出部発見フォトコンテスト2022（出部公民館、出部地区社会福祉協議会主催）には、地区内外の33人から76点の応募があった。有識者らの審査により、入賞作品が決まった。

キッズ部門 最優秀賞



逆さ日芳橋と桜
(松本 ありささん)

小さい雪だるま出来た
(三宅 心胡さん)



優秀賞

公園の桜を望む
(八杉 愛花さん)



感動ポイント明確に

中国新聞社備後本社編集部長 大野達寛

講評

コロナ禍でも私たちのふるさと出部地区の宝物を再発見してほしい、そんな思いを込めて始まったフォトコンテスト。今回も多く力作が寄せられました。うれしいことにコロナ禍も徐々に収まりつつあり、地域行事が復活し、それを題材にした作品が増えてきたのも特徴でした。

最優秀の「家の窓より」は空一面を覆ったうろこ雲が印象的でした。ふと見上げた空の表情をビビッドに切り取る。機動力に優れたスマホ時代ならではの一枚です。優秀賞は2点。「春の兆し」は雨にしっとり濡れたロウバイの花を大きく取り上げました。寒さの中にも「春の兆し」を感じ取った撮影者の感性が光ります。「わっしょい」は秋祭りの一場面でしょうか。子どもたちが担ぐみこしの躍動感あふれた瞬間を捉えました。祭りが復活した喜びもうかがえます。

キッズ部門の最優秀は「逆さ日芳橋と桜」。小田川の川面に映った逆さ橋とサクラを安定感のある構図で写し取りました。サクラの季節の素晴らしさが画面からにじみ出てくるようです。

今回残念だったのは、ただ景色を撮影しているだけで、その良さがアピールできていない作品が散見されたことです。風景なら風景のどこに感動したのか。どう写せば感動が他人に伝わるのか。その当たりを意識していただければ、もっと素敵な写真が撮れるはずですよ。

幸い神楽や鬼祭りなどのイベントも復活してきました。子どもたちのころに戻って、ピュアな感情でドキドキわくわくするような表情や瞬間、心に響いた風景を見つけてください。あなただけが出合える貴重な瞬間をキャッチしてください。



高田 真結梨ちゃん
たかた まゆり

女の子 (2020年9月12日)
=上出部町

飛び出せ いずえっ子



安井 瑞ちゃん
やすい みずき

女の子 (2016年8月31日)
=上出部町

ご寄付
ありがとうございます

地域のためにと満中陰志のご寄付をいただきました。謹んでお礼申し上げます。

(敬称略)

《中部自治連合会》

井上 光正 (亡父)

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられるのを見据えて、イベントや行事再開・復活の動きが活発だ。地域ににぎわいが戻るのうれしいが、住民目線に立って検討されているだろうか。「長年続いているから再開する」だけではコンセンサスはえられない。イベント・行事にどんな今日的な意義なのか、必要性はあるのかを問い直し、再開可否の論議を進めてほしいものだ。(S. F)

競う少年棋士

囲碁A級上位3人



新春囲碁・将棋大会 (山陽新聞社後援) が出部公民館で開かれた。

1月22日の囲碁大会には19人が参加した。2月5日の将棋大会は27人が熱戦を繰り広げた。

成績は次の通り。(敬称略)

《囲碁》

A級①金尾 澄子②神保 圭之③安部 弘和
B級①平原 芳春②前原 裕文③藤井 章

《将棋》

A級①寺岡 泰伸②松井 俊之③小林 正和
B級①萩野 裕幸②鳥越 加瑞雄③内山 陸男
C級①石田 理一②川越 名棋③佐々木 光太郎

出部地区防災会、災害に備え

段ボールベッド12床を購入

出部地区防災会は災害時に備えて、避難所で使う段ボールベッドを12床購入した。

開いて容易に組み立てられる簡易ベッド。床との距離を十分に保てるため、身体の冷えやホコリの吸い込みを防げる。足



腰の負担を減らせるためエコノミークラス症候群の予防に役立つ。

46人激闘譜

新春囲碁・将棋大会